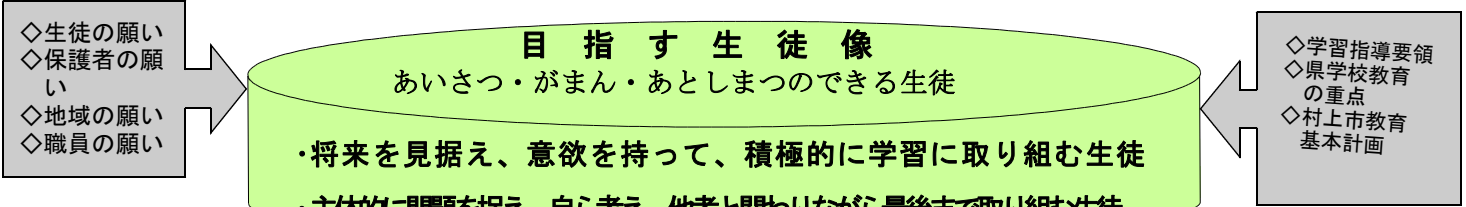
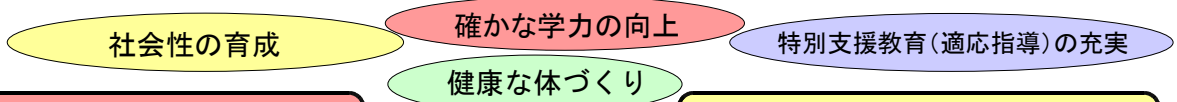


令和3年度 荒川中学校の教育全体構想【グランドデザイン】

教育目標：めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう



年度の重点目標



確かな学力の向上


☆ 目標
学習意欲を高め、基礎・基本の定着と自ら考える力の育成を図る。

☆ 取組

- 『村上市の授業づくり』の実践
「課題の設定」「対話的な活動」「まとめ」「振り返り」
- 授業規律・基礎技能の徹底
「5原則」「学び合いのルール」「立腰」
- 家庭学習習慣の定着
○予習・復習の定着(分かるからできるへ)
○授業と関連した課題の工夫、がんばりノートの活用
- 個別支援の進展(少人数指導・サポートルーム)
- 学習会の実施(補充学習、質問教室、未来塾)

☆ 評価

- 生徒アンケートで教科の「授業がわかる」と肯定的に答える生徒の割合が75%以上になる。
- 生徒アンケートで、「自分の考えを自分の言葉で発表できる」と肯定的に答える生徒の割合が80%以上になる。



社会性(生)の育成

☆ 目標 (3つの力を身に付ける)


- 人間関係づくりの力
- 自分を理解し、主体的に行動する力
- 課題を見つけ、協力しながら解決する力

☆ 取組

- SDGsの視点による地域貢献活動
○総合的な学習の時間における取組
○清流川川クリーン作戦
○福祉ボランティア活動(学年・委員会・部活等)
- 学校行事
○体育祭、青雲祭(合唱コンクール)等
○自然体験、職場訪問、職場体験、修学旅行(職場訪問等)
- 支持的、支援的な学級づくり(QU検査の実施)
- 教育相談、いじめアンケート、キャリア・ガイダンス等の個別支援の充実
- 特別の教科、道徳の公開授業、人権教育、同和教育の公開授業

☆ 評価

- 生徒アンケート「自分は集団に貢献している」の肯定的評価を70%以上にする。
- 保護者・教師アンケートで、生徒のソーシャルスキルに係わる項目の肯定的評価を80%以上にする。



特別支援教育(適応指導)の充実

☆ 目標

- 持てる力とニーズを生かし、一人一人の力を確実に伸ばす。
- 特別支援教育(適応指導)の啓発と情報発信を推進する。

☆ 取組

- 特別支援教育(適応指導)の研修会の実施
- 特別な支援が必要な生徒の理解と個々に応じた適切な対応
○面談や各種調査・検査に基づく「個別の」教育支援計画
「個別の指導計画」の作成と共有
○スクリーニングの実施と対応の協議
- 全校体制によるユニバーサルデザイン教育の推進
UDLの実施

☆ 評価

- 個別支援計画を元に、①現状把握②目標設定③実践④評価のサイクルで短期的、長期的に働きかけている。
- 職員、保護者に対して取り組みを周知している。

健康な体づくり

☆ 目標


- 健康な体と体力の向上。
- メディアコントロールを中心とした規則正しい生活習慣の確立。

☆ 取組

- 体育の授業でのチャイム学習(補強運動)
- 健康講話・応急手当講習・薬物乱用防止教室・歯の健康講話
- 授業、セルフモニタリングシートを活用した生活習慣改善指導
- 部活動ガイドラインに則った部活動の取組
- PTAと連携したIT機器の有効活用

☆ 評価

- 2回目の体力テストにおいて課題となっていた種目の向上がある。
- 生活習慣の改善に取り組んだ生徒を増やす。



◇教職員の指導力の向上 ○校内研修の充実 (理論研修、研究授業等の実践研修の充実) ○各種研修会への参加(市、県主催の研修会)	◇生徒理解の推進 ○不登校等、校内指導会議での情報共有 ○生活アンケートの実施による情報共有 ○いじめアンケートの実施	◇学校教育活動の評価・改善 ○保護者・地域へのアンケートの実施 ○全職員による教育活動の検討 ○実績および改善策の公表・外部評価の活用
--	--	--

保護者・地域と一体となった教育活動

- 小中高連携 ○コミュニティスクール ○PTA ○荒川クリーン作戦 ○総合的な学習の時間
- ホームページ ○学校だより ○地域コーディネーター ○未来塾 ○河川学習

保護者様 地域の皆様
今年度、上記の内容で取り組み、節目において評価しながら、「地域とともにある学校」を目指してまいります。(校長)